

## SF 地震学ワークショップに参加しての所感

京都大学理学部地球物理学専攻 4 年 福嶋陸斗

2023 年 9 月 13~15 日に開催されました International Joint Workshop on Slow-to-Fast Earthquakes 2023 に旅費を補助いただいて参加しましたので、その様子をご報告いたします。

本集会では海外からの参加者を含む数多くの研究者の研究発表を拝聴し議論することができ、大変充実した時間を過ごすことができました。私は「Physics-Informed Neural Networks for fault slip monitoring: simulation, frictional parameter estimation, and prediction on slow slip events in a spring slider system」というタイトルで、物理深層学習を用いた物理と観測の融合による摩擦特性推定手法について口頭発表しました。発表後に、岩石実験・地震モデリング・インバージョン等様々な背景を持つ方からフィードバックを頂くことができ、多様な視点からの議論は今後の研究の発展の方向性を考える上での大きな収穫となりました。研究発表では、普段は地球物理的な研究を聞く機会が多いのですが、本ワークショップでは地質学的アプローチの研究を多く聞いたのが魅力だと感じています。スロー地震のメカニズム解明には地震学・地質学両方のアプローチが重要だということを改めて感じ、地質学の研究にもアンテナを張って勉強を続ける必要があるなと痛感しました。

前日に開催されました若手イベントにも参加しましたが、比較的年齢の近い人達とわからないことを気軽に質問できる空気間の中で様々な分野の研究について議論でき、大変有意義な時間でした。Workshop 後に開催された巡検は普段室内で研究をしている私には大変新鮮であり、実際に沈み込み帯の現象をこの目で見る事ができたのはとても貴重な経験となりました。

これらの経験を糧に、これからも日々の研究活動に精進しようと思います。今回はワークショップの旅費を支援いただき、誠にありがとうございました。

